

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	わ ししょう	記入日	平成 27 年 3 月 16 日	
所属学部・研究科	経済学部／研究科 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	武漢大学 (国名: 中国)			
所属学部・学科等名	経済管理学院			
在籍身分	留学生			
留学期間	平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 1 月 31 日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: 家族滞在			
	ビザ申請先:			
	取得方法, 提出書類:			
	手続きに要した日数:			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 26 年 8 月 6 日			
経路	広島空港→上海→西安→武漢			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	武漢大学についてから三週間後にオリエンテーションがあり、実施内容としてはビザの申請、寮の説明、個人の安全説明、授業の選択についてだった。			
帰国年月日	平成 27 年 2 月 6 日			
経路	上海浦東国際空港→高松空港→広島駅→西条			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	約 50 万 (1 元=約 20 円)	円	
	内訳	渡航費	7 万	円
		保険料	1 万 2 千	円
		教科書代(学費)		円
		宿舍費	1 2 万	円
		食費	1 0 万	円
		その他 ( 生活用品 費) ( 娯楽 費) ( 電気代 )	1 0 万 1 0 万 1 万 2 千	円 円 円
<b>3. 授業について</b>				
2014 年 1 学期	10 月 1 日 ～ 1 月 31 日			

年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	一つの授業にあたりグループに分けられ、グループディスカッションを経てパワーポイントでプレゼンをする形式が多かった。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	私が受けた経済の授業について言えば日本の大学とレベルが同じであるため、授業についていくためにもしっかり日本で基礎を固めることが重要である。
<b>4. 生活等について</b>	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居の広さ	約 15 m <sup>2</sup> 同居人の有無 <input type="checkbox"/> 有 ( 人) <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居費	1ヶ月当たり 1000 円 (現地通貨) 約 2万 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )
留学先での住居全般に関するアドバイス	
(2) 医療について	
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input type="checkbox"/> 日本 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )
掛け金は	半年間 1万2千 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ( )
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	日本とそんなに変わらない。

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	水道から出た水はしっかり沸騰させてから飲むことが重要。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
ない		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 28 年 3 月	(当初の卒業予定年月 平成 28 年 3 月)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4 年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	大学院進学	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	留学に行くまでにできるだけ多くの単位を取った。	
<b>6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等</b>		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
<b>7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)</b>		
<p>武漢大学は中国で 4 番目の総合大学として名を知られています。そして校風は自由で学生にどんどんトライを促しています。その中で学生の質も高く、皆国際的な視点をもっている人が多いため留学生に対しても親切です。一方で留学生も世界中から多く来ており、留学生との会話を通して視野が広がるだけでなく、会話は英語で行われますので英語力の上達にもなります。そのため、武漢大学は留学するのに当たって価値の高い大学だと思います。</p>		

## ① 学習の概要に関するレポート

中国武漢大学は国内4番目の総合大学として名を知られています。授業のレベルも高く、学生の勉強に対する意欲をとて強く感じました。僕は3つの授業(国際商務、企業管理概論、中国経済史)を武漢大学で履修しました。この3つの授業の共通点としてはどれもグループワークを通して最後にプレゼンテーションをするという点です。グループワークでは個人の役割分担を班で決め決まった時間内で最大の効果を出す事が求められました。この事で自分の効率が高められたと思います。また何よりも一つの団体に障壁にぶつかりながらも物事を進めて行く協調性も身につける事ができました。授業については中国の経済史や企業管理方法だけを扱うのではなく、外国ではどうなのかという事まで扱いましたので、中国と外国との比較が容易にできました。そして今中国の経済や企業に何が足りないのかという事と外国(特に日本)の製造業の強みを知る事ができました。そのため、授業の後は友達と共に外国の企業の良い所をいかに中国企業や政治情勢に合う形で取り寄せられるのかという事を楽しく議論ができました。一番興味を持ったのは企業管理概論の授業最後の一環であるケーススタディーです。ここでは授業で学んだ企業の不足やどうすればこの企業に勝てるのかということを生徒と先生で議論していきます。このケーススタディーを通してどんなに素晴らしい企業でも必ず失敗や不足があるという事を学びました。それと同時に一つの物事を見るときに多角的な視点での観察が極めて重要である事が分かりました。

さて、HUSAプログラムは自分の将来の夢を改めて再確認をさせる機会を与えてくれた素晴らしいプログラムだと思います。僕は小学校4年生の時に日本に来ました。それ以来自分の母国に長期にわたって帰る事がありませんでした。日本と中国は一衣帯水の関係であるため、両国がお互いに今よりもっと深く理解し合いそしてより協力し合えるような関係になればアジアに莫大な利益をもたらす事ができるだろうとずっと思ってきました。そして大学生になり将来の夢を考えたときに自分は上で述べた両国の関係に少しでも貢献できる事をしたいと思いました。しかし中国の現状を知らないでは意味がありません。そこでHUSAプログラムの事を知りプログラムを通して中国に行った所、大きな収穫を得ました。中国で見たのはここ数十年に渡る経済発展だけではなく、日本の技術が中国で果たす大きな役割も目の当たりにしました。同時に両国の相互協力がこれ以上に発展すればアジアだけではなく世界に計り知れないほどの貢献ができると強く感じました。そして自分の将来像も今までよりもずっと鮮明に描く事ができました。これらの事はHUSAプログラムなしには考えられなかった事です。これからはより多くの学生に自分の夢をより確かなものにしていくためにももっと校内でHUSAプログラムを宣伝しより多くの学生たちにこのプログラムを知ってもらおう事が重要だと思います。

## 生活の概要に関するレポート

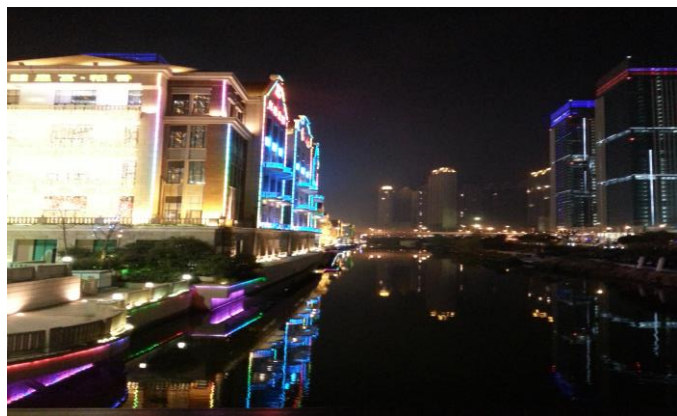
武漢大学での生活は全般的に不自由ないです。学校の方に空港や駅への迎えを要求すれば基本学校側が手配をしてくれます。また住む場所は学校の留学生寮で、これも学校側が用意してくれます。ただ、寮は2種類あって新しい方と古い方の寮がありますが、新しい寮は個人部屋で古い方は4人部屋です。一旦寮が決まれば変える事は大変複雑ですので、もし新しい寮に住みたい場合は予め大学に連絡した方が良いでしょう。寮の周りは食堂、小さいスーパーや小売店などが多いのでご飯も自分の食べたい時に食べられます。スーパーの中には菓屋さんもあるので風邪や熱の時にとても便利です。男女同じ建物の寮に住んでいますが、しっかりと住む所が分けられています。留学生は世界中から来ているため会話は基本英語が普通です。時々中国語がうまい留学生もいます。中国にきている留学生は将来中国でビジネスをしたい人、すでにビジネスを起こしている人、会社から派遣された人で様々ですので、多様な文化に接する事ができます。さらに留学生は日本の事について大変興味を持っているため比較的早く友達ができます。

武漢大学はとても広い敷地を持っています。大学の玄関から寮までいくのに学生たちは校内バスを利用しています。ですので、広大なキャンパス風景を楽しむ事ができます。一方セキュリティー面については、留学生は一人ずつ学生カードを渡されます。このカードは寮の玄関に入るための鍵になります。カードとは別に部屋の鍵も渡されますので、安全面の問題はありません。このカードにはもう二つの機能があり、一つ目はミールカードの機能です。現金をカードにチャージすれば食堂でご飯が買えます。二つ目の機能は校内バスを利用できます。因にカードのチャージは留学生寮の近くの財務部でできます。図書館についてはとても静かで勉強に集中できます。さて、武漢大学に通う中国人の学生ですが、とても簡単に仲良くなることができます。もし不安であれば武漢大学日本語協会という日本の文化や言語に興味のある中国人が作ったサークルもありますので、彼らに日本の文化を話しているうちに仲良くなれます。また日本語協会に所属している中国人の学生は大体日本語が話せますので語学の壁は比較的ないです。

週末では武漢の町は大変賑やかです。武漢大学の位置は武漢市内にあるため娯楽センターや大型ショッピングセンターがたくさんあり、エンジョイできます。外で勉強したいのであれば静かなカフェショップも大学の付近に多くあります。僕は武漢の娯楽街だけではなくビジネス街も回りました。ビジネス街も大学からは地下鉄で一時間くらいなので簡単に行く事ができます。ビジネス街では日本人が多く、日本人の店も多くあります。

このように武漢大学は立地がよく、キャンパス内は勉強に集中できる雰囲気、濃く漂い、キャンパスの外に出てみると娯楽も十分満喫できる大学です。

留学中の写真  
1 町の様子  
武漢の漢街にて



武漢の漢街



武漢の漢街



武漢の漢街



武漢大学玄関



キャンパス内



キャンパスの周辺街の夜景